

建設問題調査会との意見交換会・懇談会における会長挨拶

平成27年12月10日（木）18時～

ホテルウエルビューかごしま 2F「潮騒」

皆さんこんばんは。県建設業協会・会長の川畑でございます。

本日は、自民党県議団・建設問題調査会の先生方には、第4回定例会の最中にも関わりませず、恒例となっております協会役員との懇談会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

平素から、建設業界に対しましては、深いご理解の下に、地域の基幹産業である建設業の振興のための諸施策の推進に努めていただくとともに、当協会の業務推進につきましても、格別のご指導、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年は、建設業界にとって歴史に残る大変意義深い年でありました。

建設業の担い手を中長期的に確保するため、建設企業が適正な利潤を確保できるよう、発注者責任を明記した品確法等いわゆる「担い手三法」が昨年6月に改正され、本年4月からは、その具体化に向けて、改正品確法の運用指針が施行されました。

地域社会を支えてきた建設業が、その活力を回復するとともに、雇用や災害対応など国民経済と地域社会に重要な役割を果たすためには、適正利潤の

確保は不可欠であり、この運用指針の徹底が、建設業の命運を左右すると言っても過言ではありません。

一方、人口減少がはじまり建設技術者・技能者の高齢化が進む中、将来にわたる担い手の育成・確保の問題は、引き続き重要な課題の一つとなっております。「担い手三法」という素晴らしいエンジンを作っていただいたものの、その燃料となる公共事業予算が、震災復興・東京五輪関連事業に伴い東高西低の傾斜配分となっており、鹿児島県を含む九州各県では公共投資の減少が顕在化しつつあります。このままでは担い手の育成・確保を図るための経営環境や処遇の改善もままならず、ひいては地方創生の早期実現や地域雇用の維持にも支障が出るのではないかと危惧しております。

このような公共投資の現状を踏まえ、県議会においては先の第3回定例会で、公共事業予算の確保と補正予算の編成に関する意見書を決議され、この意見書を携えて政府等に強く訴えられるなど、力強いご支援をいただきました。また、池畑議長が会長を務められる九州各県議会議長会においても、九州8県の議長さん方が、政府・与党の役員を訪れ、同趣旨の要望活動を行われました。

ここに、衷心より敬意を表しますとともに感謝申し上げる次第であります。

もとより、建設業の使命は、国民生活と産業経済活動の基盤となる社会資本の建設、維持管理を通じて我が国の発展を支えるとともに、災害時における活動等により、地域の安全・安心を確保することにあります。

本日は、私どもの協会が抱えている課題や要望について、「要望書」として取りまとめ、お手元にお配りしておりますので、読み上げさせていただきます。2枚おめくりください。

社会資本整備の着実な推進と担い手の育成・確保について

- 1 社会資本整備の着実な推進のために必要な公共事業予算を確保すること
 - ・ 県土の防災・減災対策、及び社会資本の老朽化対策を促進すること
 - ・ 高速交通体系のミッシングリンクを解消するため、東九州自動車道、南九州西回り自動車道、地域高規格道路等の整備促進を図ること
 - ・ 社会資本の建設や維持補修、地域の災害対応を担う建設産業の事業継続を図るため、計画的・安定的な予算確保を図ること
 - ・ 社会資本整備の着実な推進と経済の好循環を地方に拡大し、「地方創生」の早期実現を図るため大型補正予算の編成について国に要請すること

2 建設産業の持続的な発展を目指し、「担い手三法」の理念と趣旨の徹底を図ること

- ・ 公共工事の担い手の育成・確保を図るため、発注者責務の明確化等を定めた「担い手三法」及び運用指針等について、市町村を含めその周知・徹底を図ること
- ・ 担い手の育成・確保に向けて、建設企業の経営環境及び労働環境の改善を図るため、適正な利潤を確保できるよう、適正な予定価格の設定、最低制限価格の引き上げ、歩切りの根絶等、入札・契約制度のさらなる改善を図ること
- ・ ゼロ国債・ゼロ県債など債務負担行為の一層の活用、適正工期の設定等により、発注や施工時期の平準化を図ること

3 建設産業の担い手の育成・確保に全力で取り組むこと

- ・ 週休二日制の実現など労働環境の改善に必要な建設従事者の賃金水準を確保するため、適切な設計労務単価を設定すること
- ・ 中長期的な担い手の育成・確保に向けて、建設業人材確保・育成事業を含め、継続的に施策を講じること
- ・ 社会資本整備の必要性及び建設産業の魅力や地域建設業の果たす役割について、広く県民に伝えるため、産・官・政・学が一体となり戦略的広報の展開に取り組むこと

以上であります。当協会としては、建設企業の経営の安定化のため、また、建設業が「夢のある産業」としてその魅力を高められるよう、今後とも精一杯努力してまいりたい所存でありますので、特段のご理解とご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、来年は、知事選などが行われますが、私どもとしましては、先ほどの理事会で現職の伊藤知事を推薦することといたしました。参議院選につきましては、いずれも自民党1次公認候補であります。鹿児島選挙区が現職の野村先生を、比例代表が新人の元国土交通技監の足立としゆき氏を推薦することとしております。

本日は、せっかくの機会ですので、お時間の許す限り、ごゆっくりご歓談いただきますようお願い申しあげまして、要望とあいさつに代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。